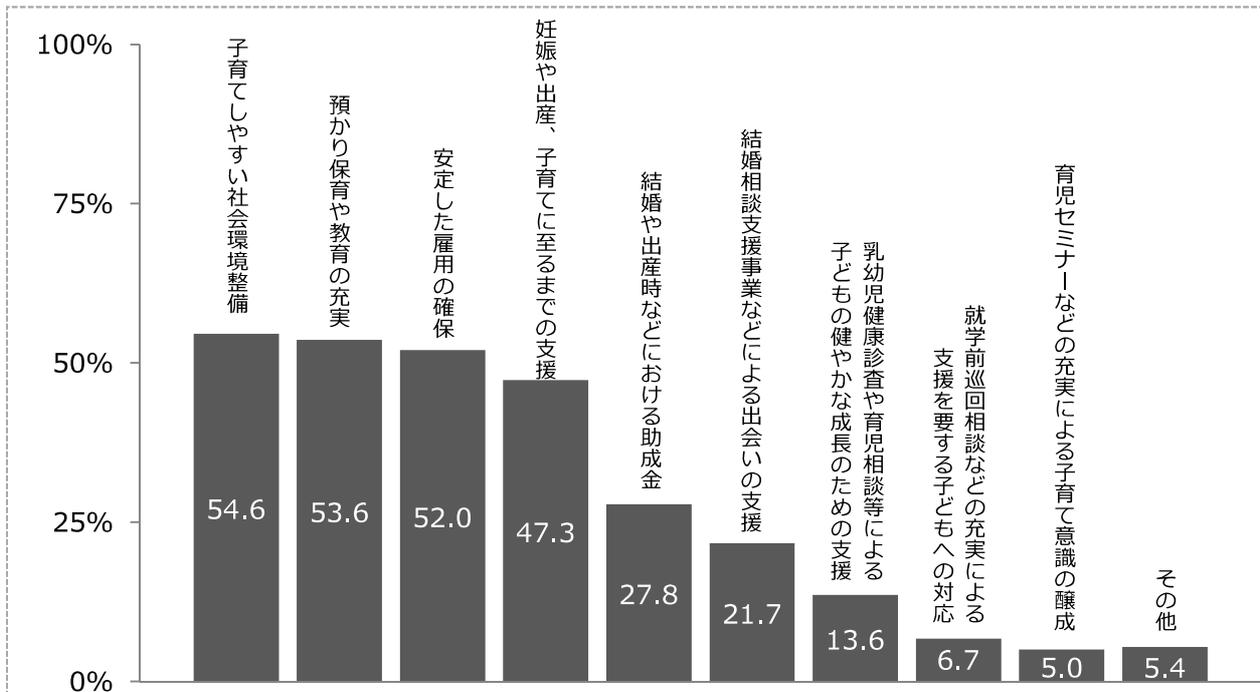


## 第5章 個別の政策課題の設問

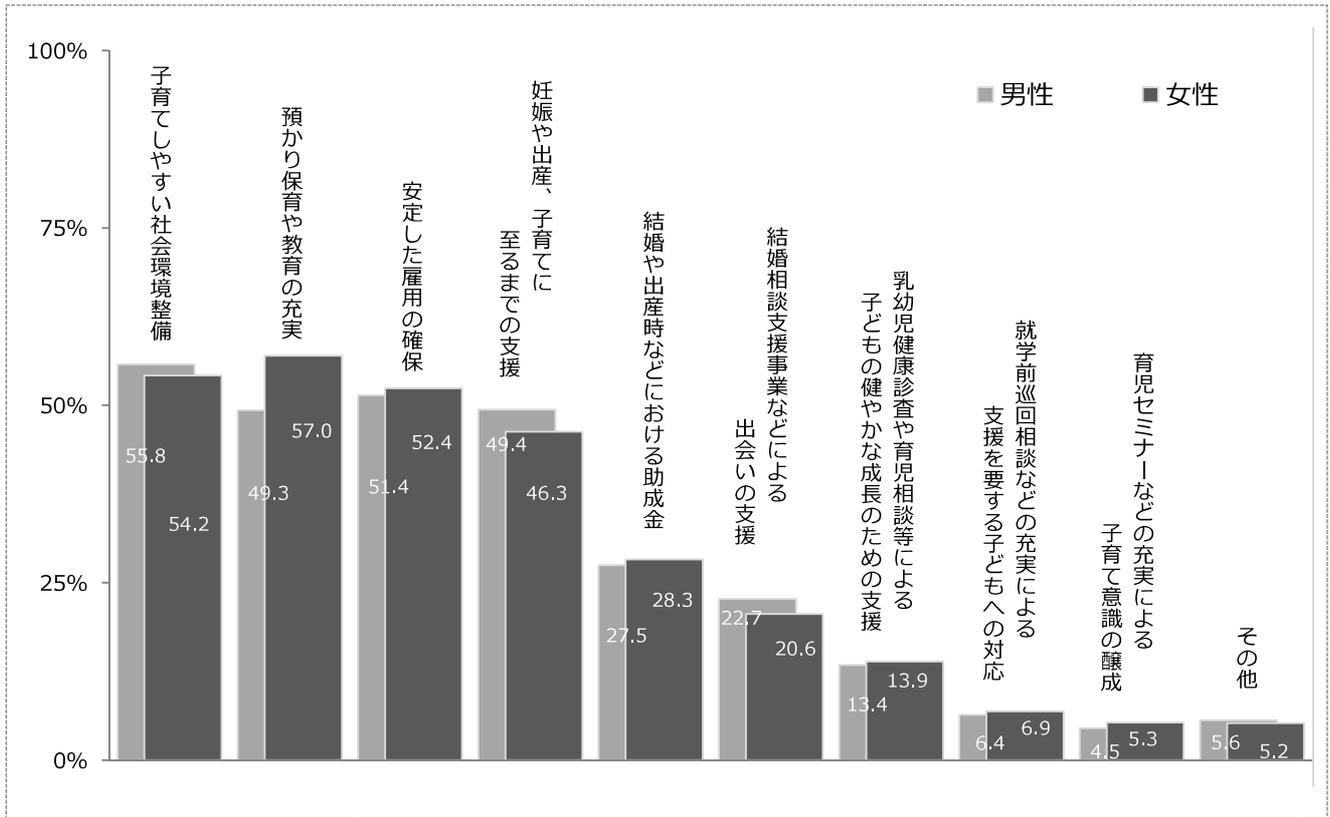
### 1 子どもの数を増やすために必要なこと

設問 44 どのような支援や対策があれば、子どもの数は増えると思いますか。  
(3つまで選択可) n=1,530



子どもの数が増える支援や対策について、選択された割合が最も高かったのは「子育てしやすい社会環境整備」(54.6%)となり、次いで、「預かり保育や教育の充実」(53.6%)、「安定した雇用の確保」(52.0%)が続いた。

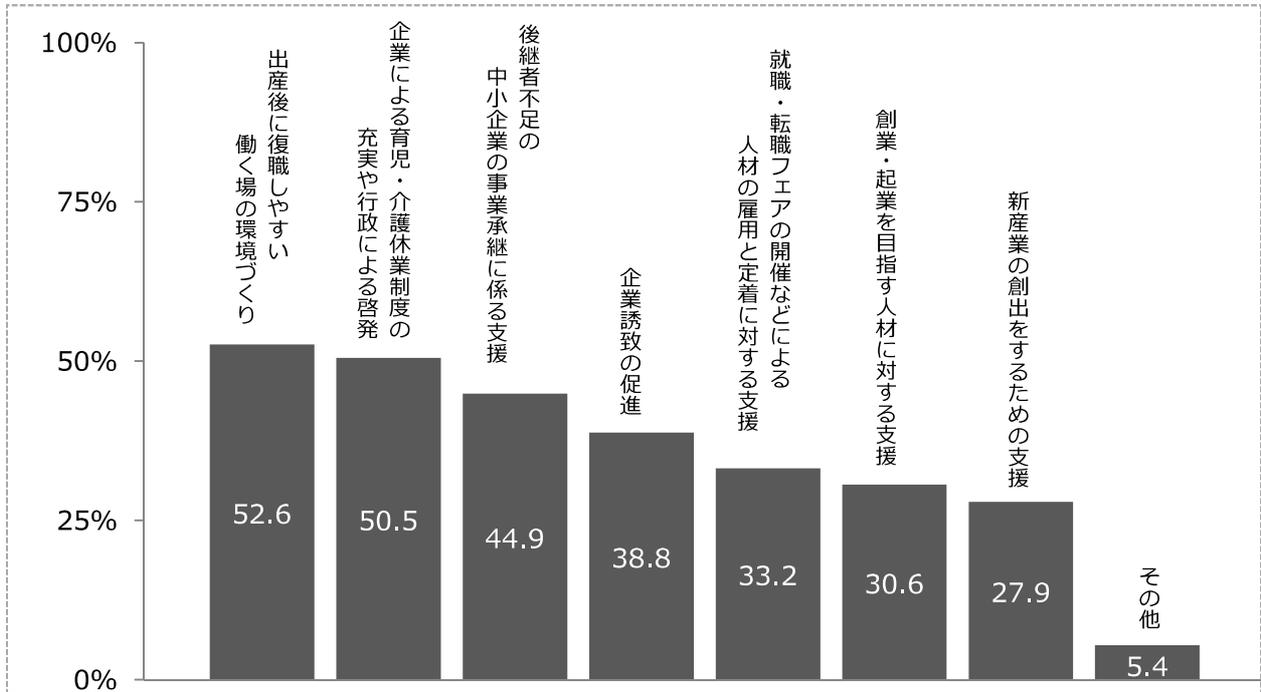
男女別構成とのクロス集計 n=1,509



男女別に比較してみると、男性で最も選択した割合が大きい子どもの数が増える支援や対策は、「子育てしやすい社会環境整備」(55.8%)となり、次いで、「安定した雇用の確保」(51.4%)、「妊娠や出産、子育てに至るまでの支援」(49.4%)が続いた。また、女性で最も選択した割合が大きい子どもの数が増える支援や対策は、「預かり保育や教育の充実」(57.0%)となり、次いで、「子育てしやすい社会環境整備」(54.2%)、「安定した雇用の確保」(52.4%)が続いた。

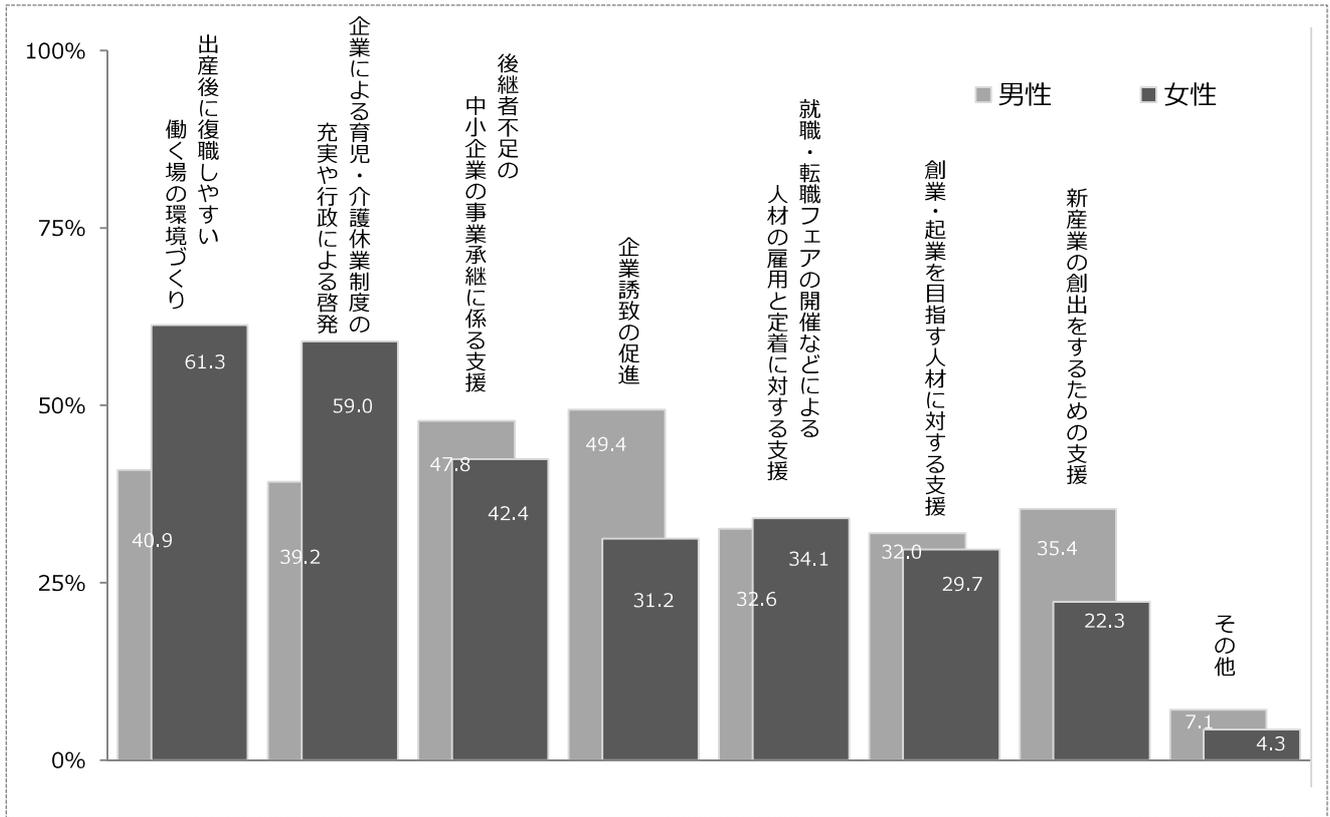
## 2 岐阜市で働いてもらうために必要なこと

設問 45 本市で働いてもらうために必要な事は何だと思えますか。  
(3 つまで選択可) n = 1,540



本市で働いてもらうために必要なことについて、選択された割合が最も高かったのは「出産後に復職しやすい働く場の環境づくり」(52.6%)となり、次いで、「企業による育児・介護休業制度の充実や行政による啓発」(50.5%)、「後継者不足の中小企業の事業承継に係る支援」(44.9%)が続いた。

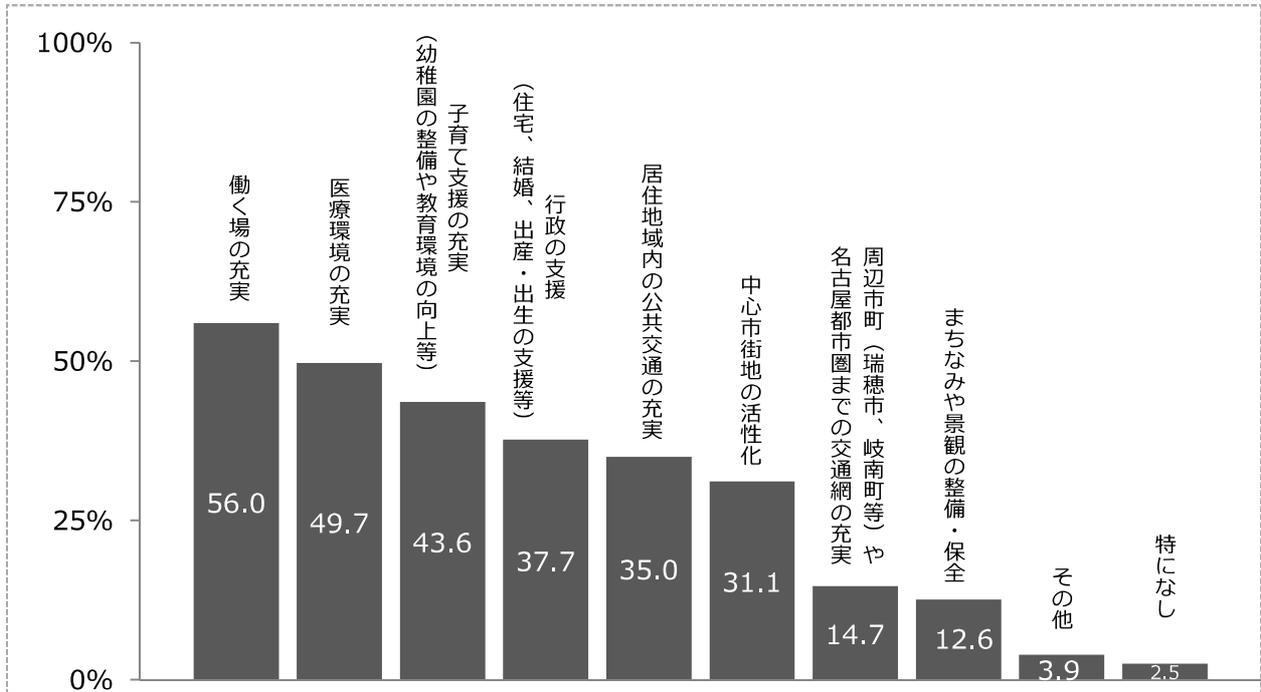
男女別構成とのクロス集計 n=1,520



男女別に比較してみると、男性で最も選択した割合が大きい本市で働いてもらうために必要なことは、「企業誘致の促進」(49.4%)となり、次いで、「後継者不足の中小企業の事業承継に係る支援」(47.8%)、「出産後に復職しやすい働く場の環境づくり」(40.9%)が続いた。また、女性で最も選択した割合が大きい本市で働いてもらうために必要なことは、「出産後に復職しやすい働く場の環境づくり」(61.3%)となり、次いで、「企業による育児・介護休業制度の充実や行政による啓発」(59.0%)、「後継者不足の中小企業の事業承継に係る支援」(42.4%)が続いた。

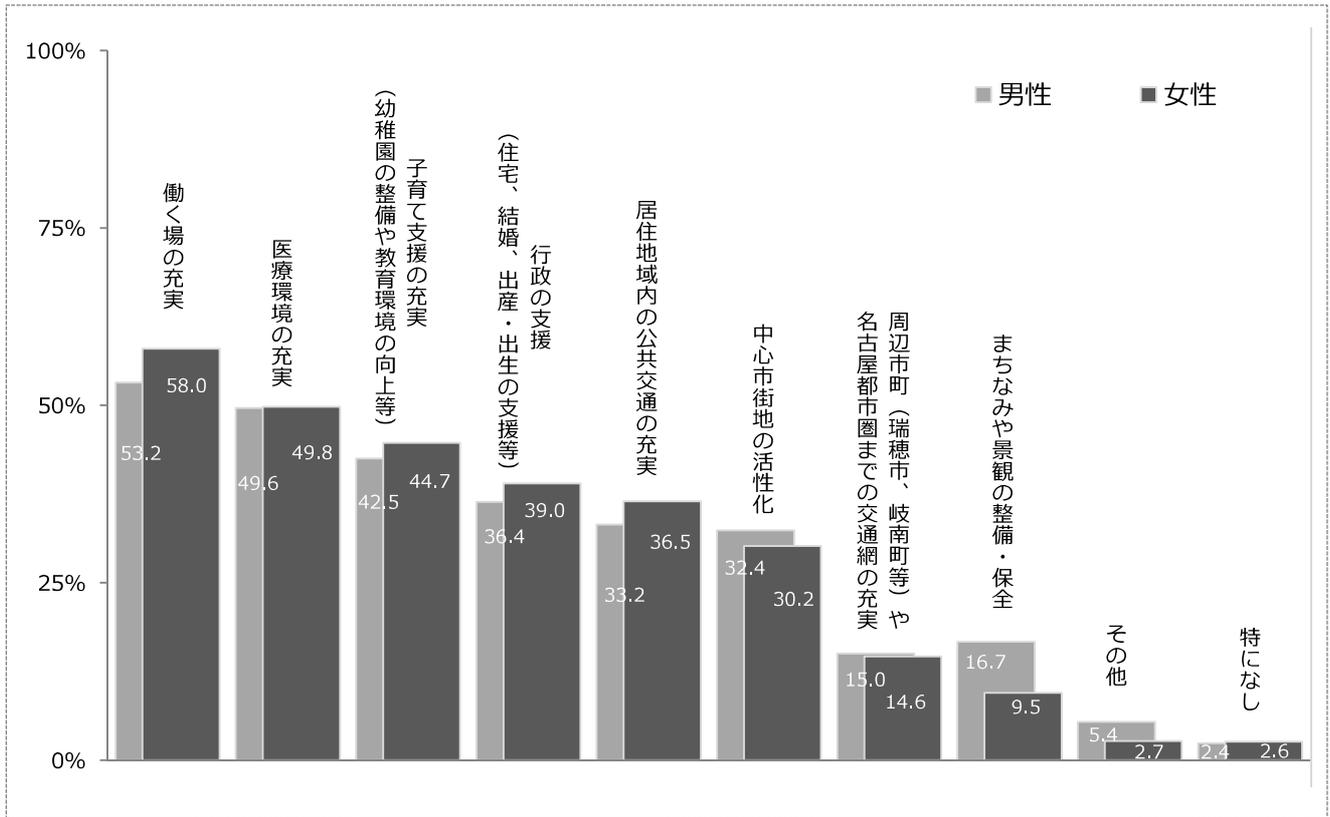
### 3 岐阜市に住み続けるために必要なこと

設問 46 岐阜市に住み続けるために必要な事は何だと思いますか。  
(3 つまで選択可) n = 1,552



岐阜市に住み続けるために必要な事について、選択された割合が最も高かったのは「働く場の充実」(56.0%)となり、次いで、「医療環境の充実」(49.7%)、「子育て支援の充実(幼稚園の整備や教育環境の向上等)」(43.6%)が続いた。

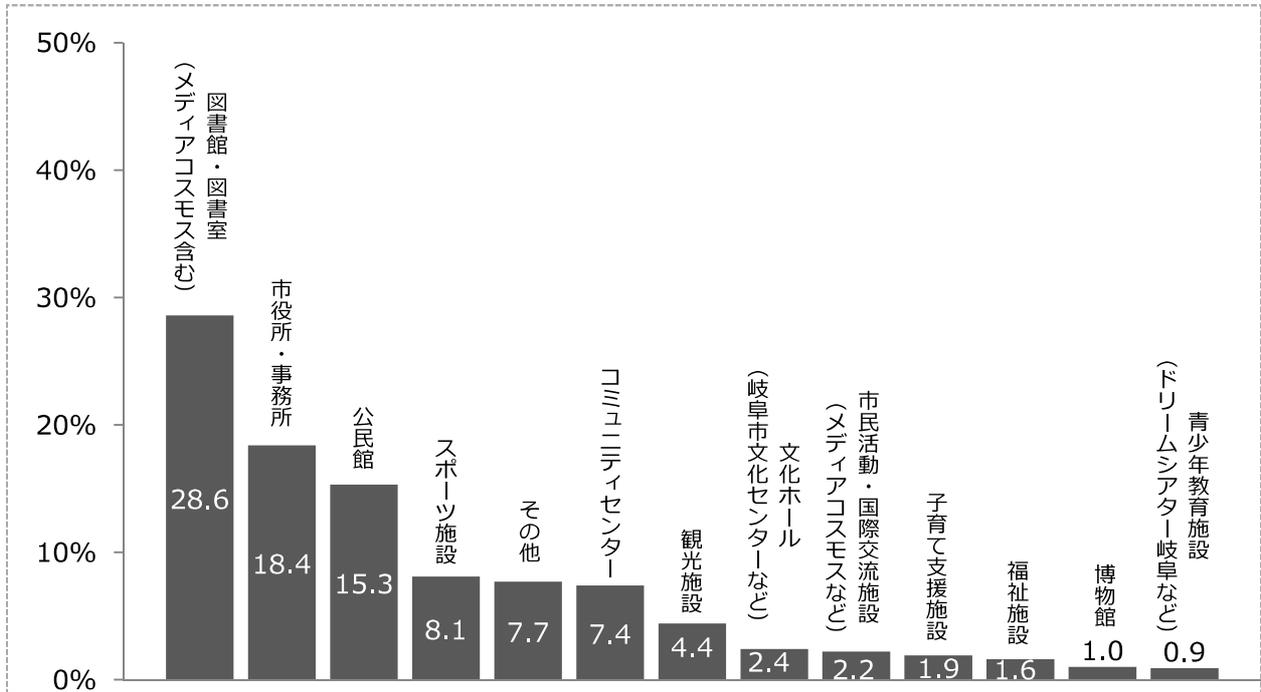
男女別構成とのクロス集計 n=1,530



男女別に比較してみると、男性で最も選択した割合が大きい本市で働いてもらうために必要な事は、「働く場の充実」(53.2%)となり、次いで、「医療環境の充実」(49.6%)、「子育て支援の充実(幼稚園の整備や教育環境の向上等)」(42.5%)が続いた。また、女性においても最も選択した割合が大きい本市で働いてもらうために必要な事は、「働く場の充実」(58.0%)となり、次いで、「医療環境の充実」(49.8%)、「子育て支援の充実(幼稚園の整備や教育環境の向上等)」(44.7%)が続いた。

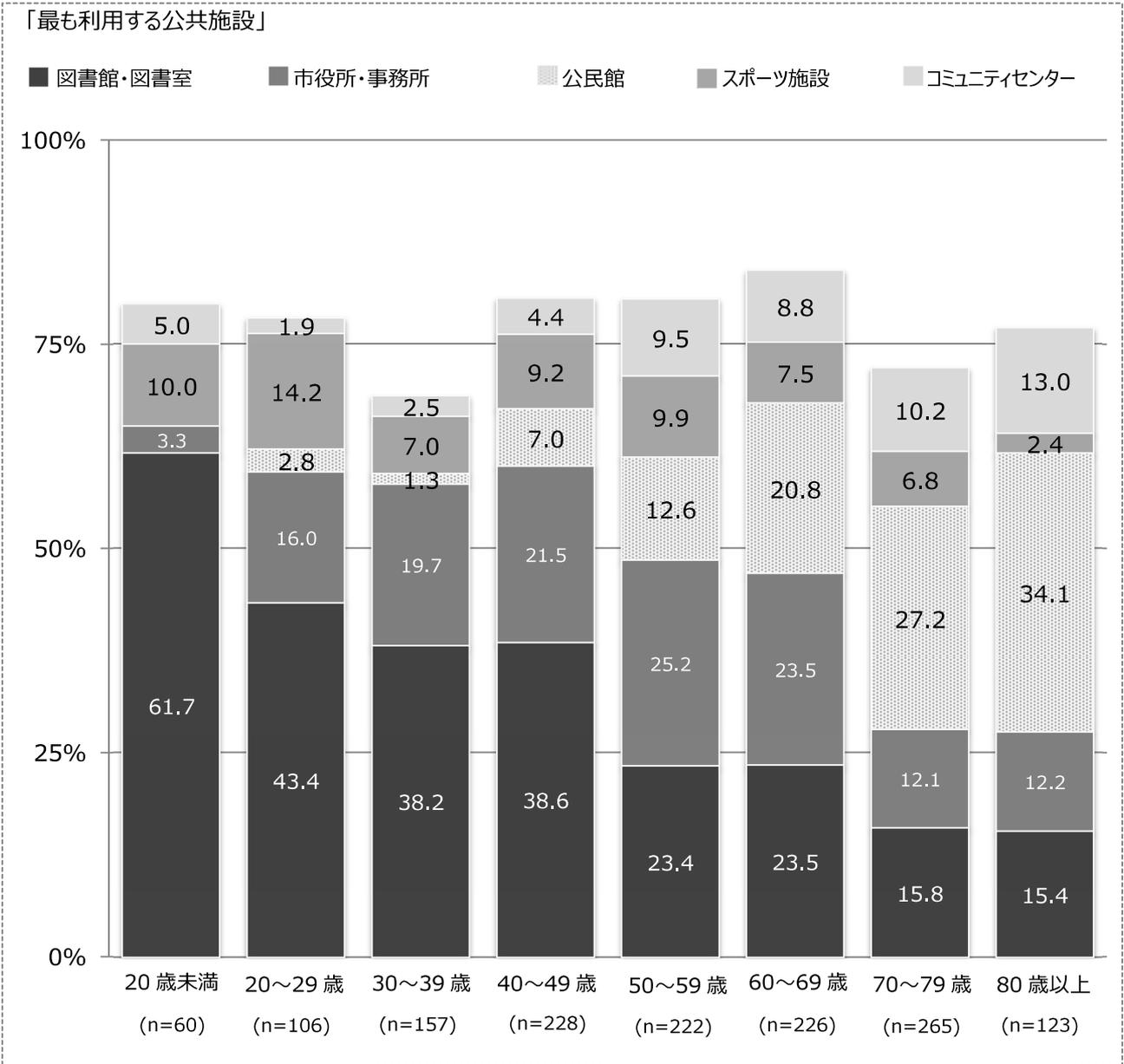
## 4 最も利用する公共施設

設問 47 普段最も利用する公共施設を教えてください。 n=1,396



最も利用する公共施設について、選択された割合が最も高かったのは「図書館・図書室(メディアコスモス)」(28.6%)となり、次いで、「市役所・事務所」(18.4%)、「公民館」(15.3%)が続いた。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,387



最も利用する公共施設として選択された割合が高かった上位 5 項目（「その他」を除く）を年齢階層別でみると、「図書館・図書室（メディアコスモス含む）」では「20 歳未満」（61.7%）が最も高く、次いで、「20～29 歳」（43.4%）、「40～49 歳」（38.6%）となった。

「市役所・事務所」では「50～59 歳」（25.2%）が最も高く、次いで、「60～69 歳」（23.5%）、「40～49 歳」（21.5%）となった。

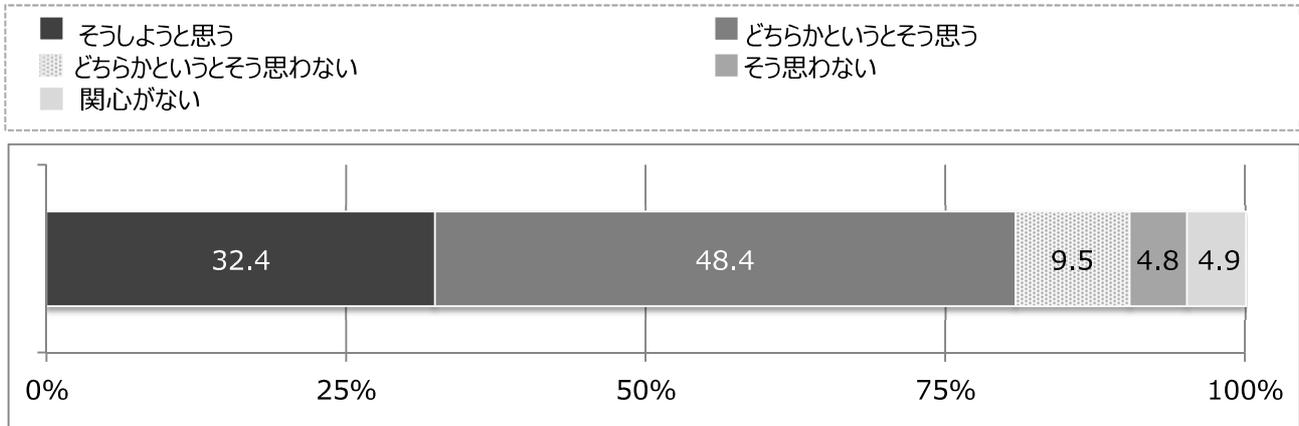
「公民館」では「80 歳以上」（34.1%）が最も高く、次いで、「70～79 歳」（27.2%）、「60～69 歳」（20.8%）となった。

「スポーツ施設」では「20～29 歳」（14.2%）が最も高く、次いで、「20 歳未満」（10.0%）、「50～59 歳」（9.9%）となった。

「コミュニティセンター」では「80 歳以上」（13.0%）が最も高く、次いで、「70～79 歳」（10.2%）、「50～59 歳」（9.5%）となった。

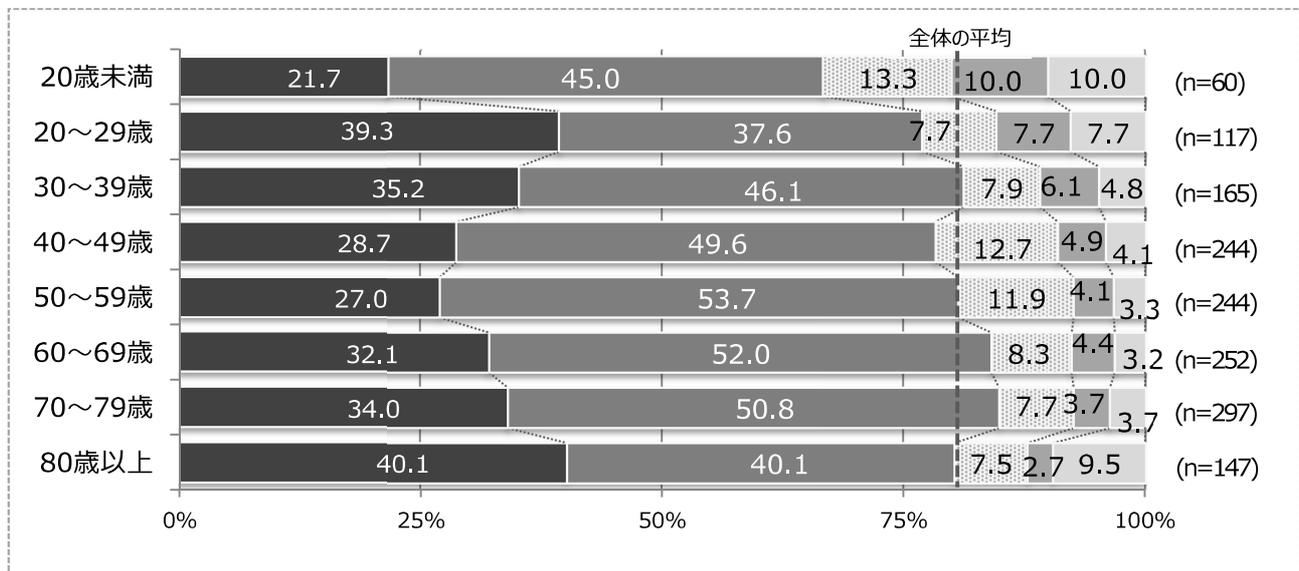
## 5 ゲートキーパーに関する意識調査

**設問 48** 身近な人がいつもの様子と違い深く悩んでいるように見えた時、あなたは、進んでその理由を聞いたり相談できる場所へ行くようすすめますか。  
n = 1,537



身近な人が深く悩んでいる時に適切な対応を図る意識については、「そうしようと思う」(32.4%)、「どちらかというと思う」(48.4%)と回答した割合の合計が 80.8%となった。一方で「そう思わない」(4.8%)、「どちらかというと思わない」(9.5%)、「関心がない」(4.9%)と回答した割合の合計は 19.2%となった。

### 年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,526



年齢階層別に、「そうしようと思う」、「どちらかというと思う」と回答した割合の合計を全体の平均(80.8%)と比較すると、「70～79歳」(84.8%)、「60～69歳」(84.1%)、「30～39歳」(81.3%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「20歳未満」(66.7%)では平均を大きく下回り、「20～29歳」(76.9%)、「40～49歳」(78.3%)、「80歳以上」(80.2%)、「50～59歳」(80.7%)でも平均を下回る、または近似した値となった。